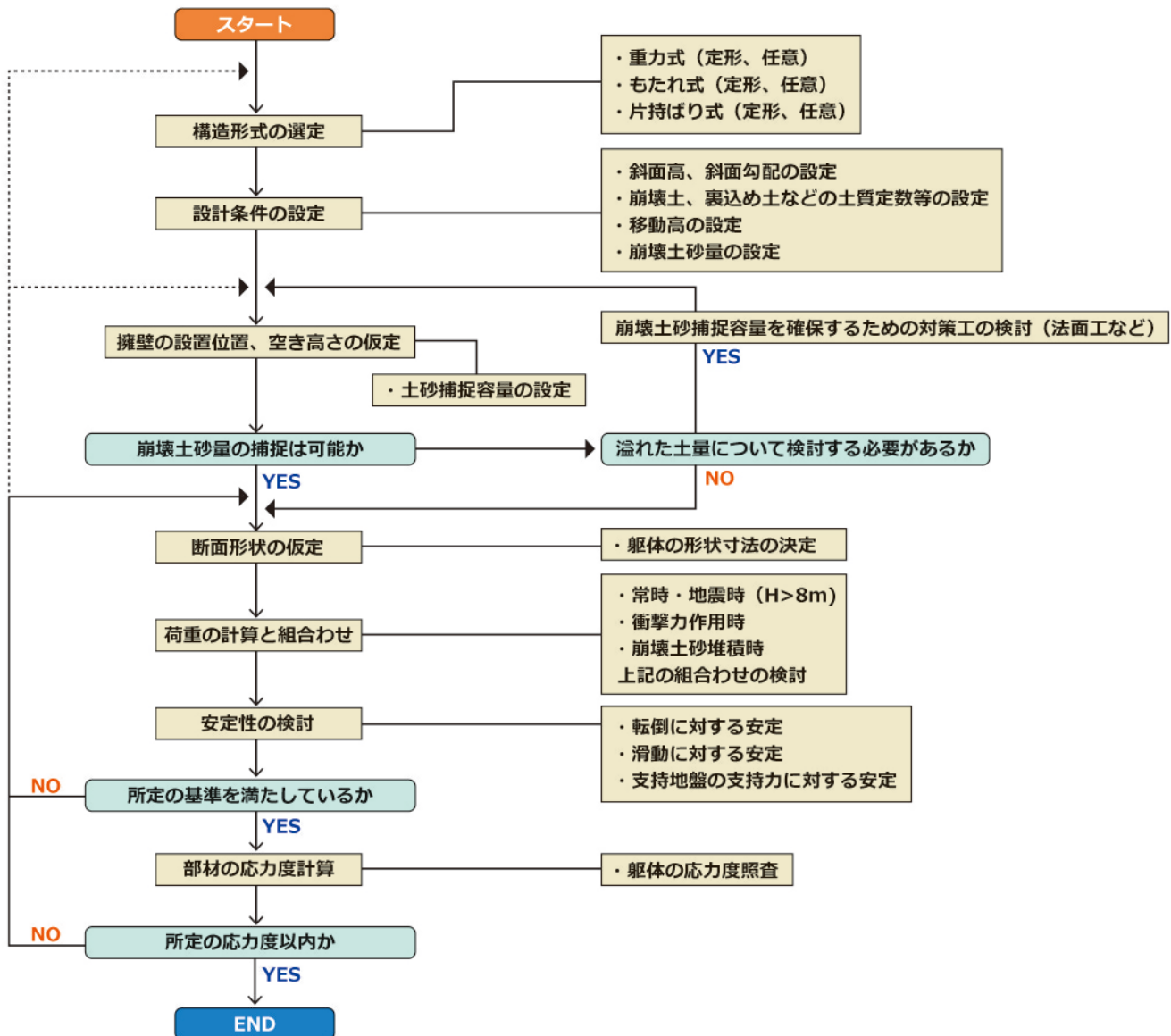


衝撃力と崩壊土砂量を考慮した「待受け擁壁の設計」

現在、擁壁の計算の中にある特殊擁壁の内、5月にリリースしました「落石防護擁壁の設計」に続き、「待受け擁壁の設計」をリリースする運びになりました。今回、主な機能追加として「崩壊深、崩壊角度 (θ) を考慮した崩壊土砂量及び移動力の計算」、「重力式裏法コンクリート形状の対応」、「背面法面形状対応」、「盛土部擁壁対応」等を追加しています。

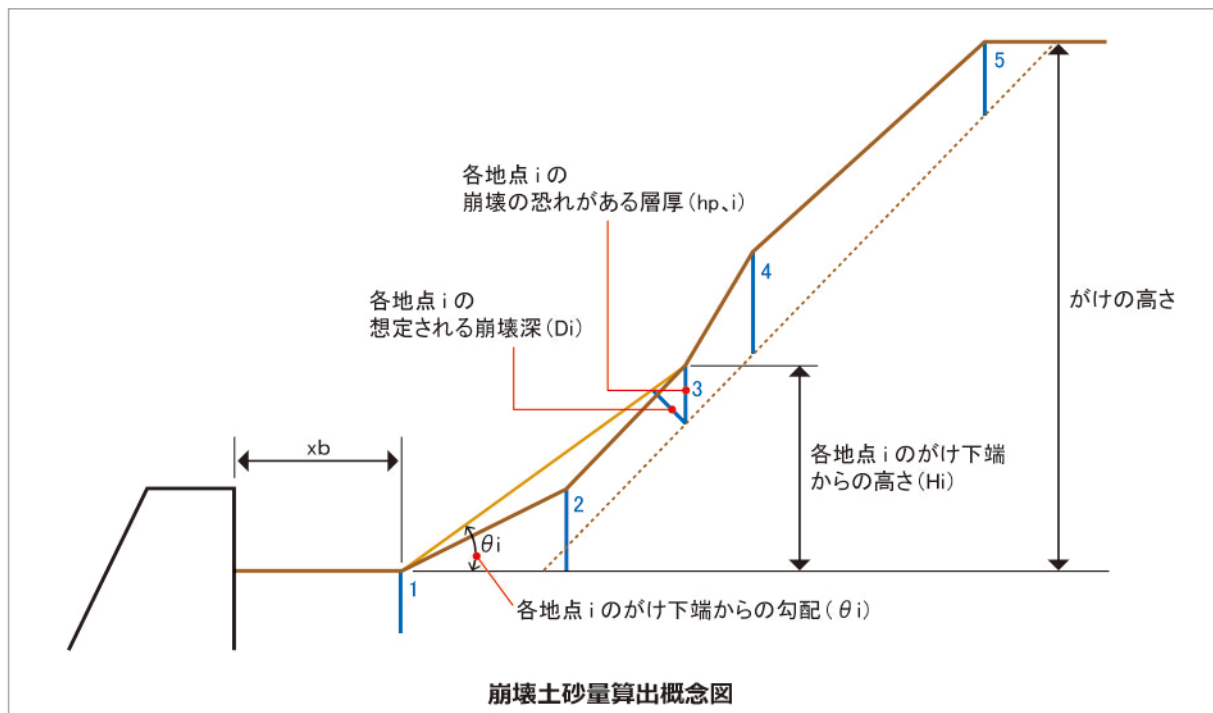
機能追加

1. 衝撃力と崩壊土砂量を考慮した擁壁工の設計手順



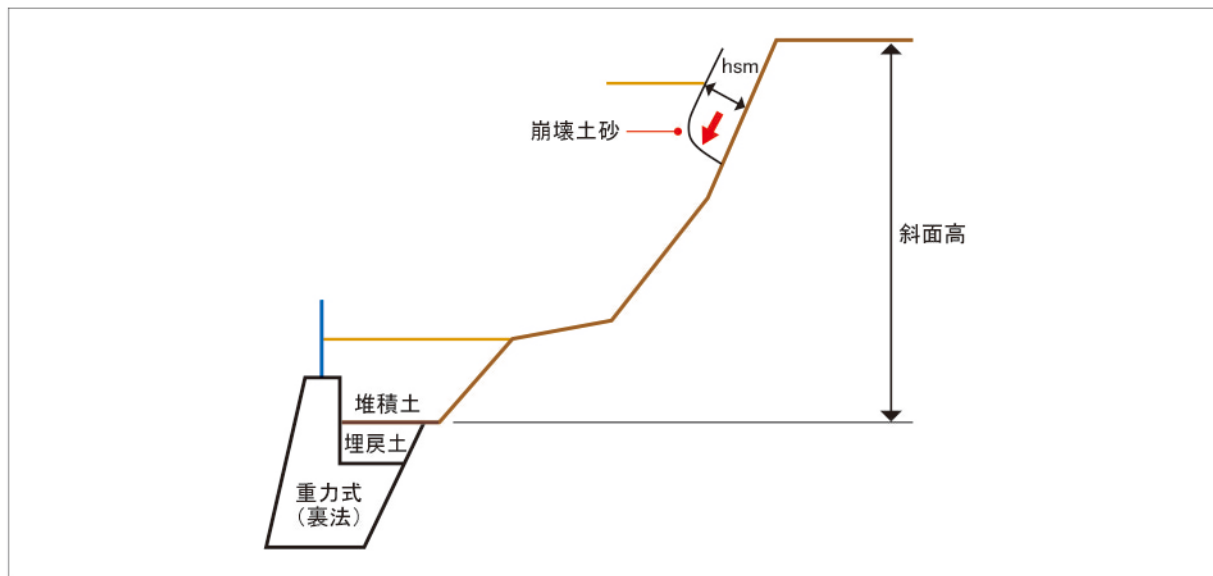
2. 機能追加概要

2.1 崩壊深、崩壊角度 (θ) を考慮した崩壊土砂量及び移動力の計算



上記概念図のように、斜面全体が崩壊すると仮定し、単位幅当たりの崩壊する恐れのある土砂量と「全国の斜面災害データでの斜面高さ毎に区分した崩壊土量」で示される単位幅当たりの崩壊土砂量と比較して小さい方を用います。また、移動力は、各地点での想定される崩壊深から求め、移動力の最大になる地点を設計衝撃力とします。

2.2 重力式裏法コンクリート形状（背面法面）



2.3 その他の機能追加

- ①安定条件（転倒、滑動、支持力）の安全率直接入力
- ②重力、もたれ式擁壁の豎壁任意位置での断面照査
- ③土圧を無視する高さ考慮

今回、リリース予定の「待受け擁壁の設計」では、上記の機能追加等を行ったプログラムとなっております。最寄の営業所へのお問い合わせ、又はホームページでご確認下さい。